【授業科目】生命倫理学　　Bioethics

担　当　教　員	開講年次	選択必修	単位数	時間数	授業形態	実務経験	オフィスアワー	教職員への授業公開
三好 陽子、岡村 勇飛	１年次 前　期	必　修	1	15	講　義	なし	巻末 掲載	否

授業概要 （内容と進め方） 及び課題に対する ﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	授業概要／現代における医療や生命科学分野で生じている問題をもとに、生命倫理の対象や倫理問題の論点を理解し、医療者としてあるべき姿や課題を考察する。生命倫理の特徴や諸問題など、講義から基本的な概要を学んだうえで、医療者になる者としてどのように考え、諸問題と向き合うのかをグループで検討する。また、歴史的な背景については、倫理に関する歴史的な事件について関心のある内容を情報収集し、グループでまとめて発表する。全体の発表を通して、自分の考えをまとめたものをレポートで提出し、考察を深める。 課題に対するフィードバック方法／提出されたレポートについて、コメントを付けて返却。
授業の 位置づけ	本学のディプロマ・ポリシー⑤「将来に向け臨床検査を主体的に学び、臨床検査の専門職としてのキャリアを伸ばせる能力を持つことができる。」の達成に寄与している。
到達目標 （履修者が到達すべき目標）	① 生命倫理の特徴、歴史的変遷について述べることができる。 ② 医療や生命科学分野で生じている倫理問題の論点を述べることができる。 ③ 医療者として問題にどのように向き合い、対処するべきかを述べることができる。
時間外学習に必要な学修内容および学習上の助言	【事前学習】第１回～8 回１年次の一般教養の倫理学の復習を含め、授業テ―マに応じて指定の教科書､資料を事前に熟読し、要点をまとめる等、下調べをして出席する（各２時間）。 【事後学習】第１回～8回各回での学びを復習することで知識を確認し、不明な点等があれば調べ教員及び授業において質問する/学びを活用し自身の考えを整理・言語化（＝文章化）する（各２時間）。
	※上記時間については、指定された学習課題に要する標準的な時間を記載してあります。日々の自学自習全体としては、各授業に応じた時間（２単位１５回科目の場合：予習+復習４時間／1回）（１単位１５回科目の場合：予習+復習1時間／１回）（１単位８回科目の場合：予習+復習４時間／１回）を取るよう努めてください。詳しくは教員の指導に従ってください。

授業計画	第１回：授業オリエンテーション 生命倫理とは 倫理の基本となる理論と概念	三好
	第２回：生命倫理の歴史、生命倫理の原則 －医療倫理の歴史的背景をふまえて-	三好
	第３回：医療倫理の歴史的事件に関する課題のグループワーク	三好・岡村
	第４回：グループワーク課題の発表	三好・岡村
	第５回：医療現場おける倫理的葛藤とジレンマ 倫理的分析と意思決定ための方法論	三好
	第６回：生命倫理の諸問題 （妊娠中絶・出生前診断、脳死と臓器移植、認知症患者の人権、終末期医療と安楽死など）	三好
	第７回：生命倫理の諸問題に関するグループワーク	三好・岡村
	第８回：グループワーク発表・まとめ　　※課題レポート	三好・岡村

評価方法 評価基準	課題レポート 60%、グループワーク 40%		
教科書	塩野寛 他『生命倫理への招待』改訂６版 南山堂	参考書等	三崎和志 他『生命の倫理学』大月書店
学生への メッセージ	現代の生命科学や医療技術の発展により人の生命に関して生じてきた様々な倫理問題について吟味していきます。本講義で扱う内容は、答えが出ない問題ばかりです。いろんな側面や様々な価値観があることを知り、それを受け入れ、考える力を身につけてください。		